

糸彫瓢箪

瓢箪の表皮に鋭利なヤスリで傷を付け、絵を描きます。描いた絵の溝に薄めた塗料を入れ、直ぐにシンナーを含んだ布で拭き取ります。すると、溝に残った塗料だけが残り、絵が浮かびます。

これを、糸彫瓢箪と言っています。石川県穴水町在住の高橋勝博氏が考案したものです。

